



ハイサンテック株式会社

オンリーワンの『ものづくり』を目指し、
お客様の『ものづくり』を応援しています

2023年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023年 7月～2024年 6月)



本社・工場 全景

発行日: 2024年11月20日



ハイサンテック株式会社は、環境経営理念「環境への負荷を削減」・「環境との調和、共生に配慮」のもと国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を重要な経営課題と捉え、企業の継続的価値の追求と社会課題の実現を両立させることにより、すべての人の幸せ、企業の幸せ、だれ一人取り残さない世界の実現に貢献します。

目 次

1. 組織の概要	3
2. 認証・登録の対象範囲	3
3. 組織体制図	4
4. 環境経営方針	5
5. 環境経営目標及び取組結果	6
(1)環境経営目標(中期目標)	6
(2)運用期間の実績・評価(2023/7～2024/6)	7
6. 環境経営計画及び取組結果、次年度の取組内容	8～9
7. 環境関連法規等の遵守状況の評価結果	9
8. 代表者による全体の評価と見直・指示	10
9. 環境経営での取組み活動の紹介	10

1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
ハイサンテック株式会社
代表取締役 高山 浩平
- (2) 所在地
本社・工場 〒709-0631
岡山県岡山市東区東平島85番地の1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 高山 浩平 TEL:086-297-5567
担当者 藤井 みゆ紀 FAX:086-297-5080
E-mail:k_takayama@hisun.co.jp
- (4) 事業内容
・自動化、省力化機械の開発・設計・製作・改造
・制御装置、システムの開発・設計・製作・改造
・機械、装置の設置工事、電気配線・配管工事
・上記関連機械、設備のメンテナンス
・機械器具設置工事業(建設業許可)
⇒オンリーワンの『ものづくり』を目指し、お客様の『ものづくり』を応援しています



当社主要製品:BJサブアッシ自動組立機(ベアリングの組立装置)

- (5) 事業の規模
売上額 26,265万円(2023年度)

	本社・工場		合計
従業員 (人)	17		16
延べ床面積(m ²)	677		677
敷地面積 (m ²)	1,775		1,775

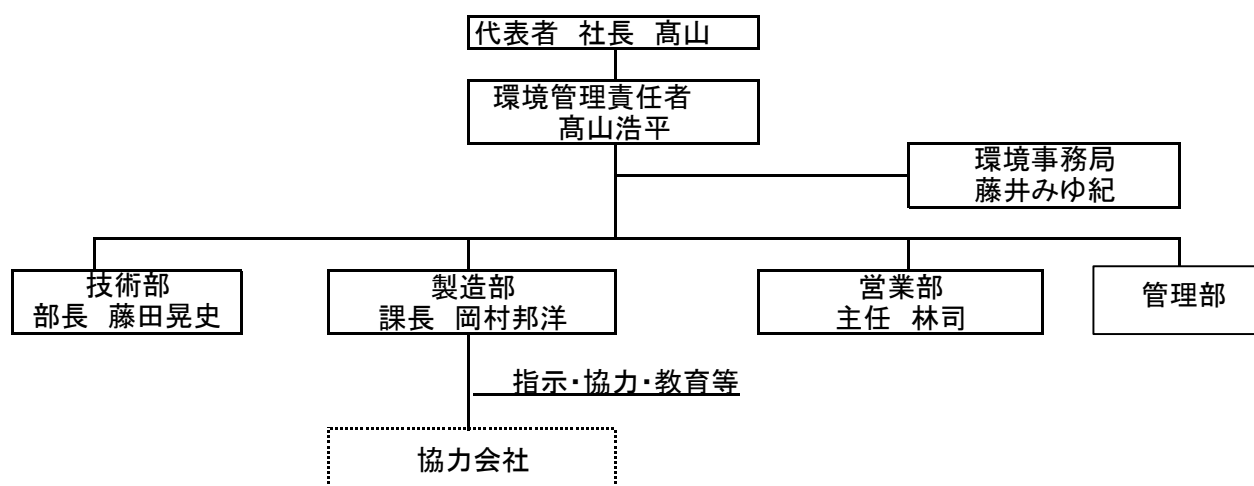
エコアクション21対象従業員数(本社) 15名

- (6) 事業年度 7月～翌年6月

2. 認証・登録の対象範囲

登録事業者名: ハイサンテック株式会社
対象事業所: 本社・工場
対象外: なし
事業活動: 省力化機械の設計・製作・制御・据付

3. 組織体制図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長(部長)	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 ・担当部門の運用維持管理 ・自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営方針



経営理念

オンリーワンのものづくりに挑戦

誠実な『ものづくり』を継続し、信用・信頼を何より大切にします
お客様に役立てる『ものづくり』に挑戦し、技術で社会に貢献します
感謝の気持ちで、みんなが笑顔になる『ものづくり』を愉しみます

環境基本理念

当社は、省力化機械の設計・製作・制御・据付を主とする事業活動において、地球環境の保全が社会共通の重要課題であることを認識し、環境ならびに温暖化対策・省エネに配慮した環境経営を行い、より豊かな社会の発展に貢献します。

環境経営行動指針

環境マネジメントシステムを構築・運用・維持することによって、継続的改善を誓約します。

- 1.課題とチャンスを踏まえて、業務の継続的改善を推進します。
- 2.二酸化炭素排出量を削減します。
重点分野として、電気・ガソリン・LPGの使用量削減を推進します。
- 3.廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。
- 4.水道使用量の削減を推進します。
- 5.化学物質使用の適正管理を推進します。
- 6.環境に配慮した製品の製造及び販売を推進します。
- 7.地域のボランティア、環境教育活動に積極的に参加します。
- 8.環境関連法規等を遵守します。
- 9.本方針を全従業員に周知徹底します。



作成日：2022年7月1日

代表取締役 高山 浩平

5. 環境経営目標及び取組結果

(1) 環境経営目標(中期目標)

年 度 項 目		2021年度 実績	2022年度	2023年度	2024年度
I. 課題とチャンス取組み 業務の効率化改善		—	目標数値設定なし 維持活動		
II. 二酸化炭素 排出量削減 合計	kg-CO ₂	41,541	41,126	40,710	40,295
	対基準		△1%	△2%	△3%
電力使用量削減	kWh	29,260	28,967	28,675	28,382
	kg-CO ₂	15,244	15,092	14,939	14,787
	対基準		△1%	△2%	△3%
ガソリン 使用量削減	L	6,707	6,640	6,573	6,506
	kg-CO ₂	15,560	15,405	15,249	15,093
	対基準		△1%	△2%	△3%
軽油 使用量削減	L	429	425	420	416
	kg-CO ₂	1,107	1,096	1,085	1,074
	対基準		△1%	△2%	△3%
灯油 使用量削減	L	547	542	536	531
	kg-CO ₂	1,362	1,348	1,335	1,321
	対基準		△1%	△2%	△3%
LPG 使用量削減	kg	2,756	2,728	2,701	2,673
	kg-CO ₂	8,268	8,185	8,103	8,020
	対基準		△1%	△2%	△3%
III. 廃棄物排出量					
①一般廃棄物削減	kg	11,776	11,658	11,540	11,423
	対基準		△1%	△2%	△3%
②産業廃棄物のリ サイクル化推進	kg	1,960	目標数値設定なし 維持活動		
	対基準				
IV. 水道水の節水	m ³	296	293	290	287
	対基準		△1%	△2%	△3%
V. 化学物質使用の 適正管理	kg	66	目標数値設定なし 維持活動		
	対基準				
VI. 環境配慮製品 サービスの提案	回	8	目標数値設定なし 維持活動		
	対基準				
VII. 地域ボランティア 等への参加	回	4	目標数値設定なし 維持活動		
	対基準				
VIII. 環境活動の 教育訓練	回	4	目標数値設定なし 維持活動		
	対基準				

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力 0.521 kg-CO₂/kWhを使用

注2) 『目標数値設定なし維持活動』は、「6. 環境経営計画及び取組…」に記載のとおり

※2025年以降の中期目標計画設定については、過去3年間実績を分析して中期目標計画を策定する。

(2)運用期間の実績・評価(2023年7月～2024年6月:12ヶ月間)

年 度 項 目		基準	運用期間における実績			
		2021年7月～ 2022年6月	(2023年7月～2024年6月)			
			目標	実績	達成度	評価
Ⅰ．課題とチャンス取組み 業務の効率化改善			目標数値設定なし 維持活動			
Ⅱ．二酸化炭素 排出量削減 合計	kg-CO ₂	41,541	40,711	38,086	94%	○達成
	対基準		△2%			
電力使用量削減	kWh	29,260	28,675	29,322	102%	× 未達成
	kg-CO ₂	15,244	14,940	15,277		
	対基準		△2%			
ガソリン 使用量削減	L	6,707	6,573	6,514	99%	○達成
	kg-CO ₂	15,560	15,249	15,112		
	対基準		△2%			
軽油 使用量削減	L	429	420	429	102%	× 未達成
	kg-CO ₂	1,107	1,085	1,107		
	対基準		△2%			
灯油 使用量削減	L	547	536	314	59%	○達成
	kg-CO ₂	1,362	1,335	782		
	対基準		△2%			
LPG 使用量削減	kg	2,756	2,701	1,936	72%	○達成
	kg-CO ₂	8,268	8,103	5,808		
	対基準		△2%			
Ⅲ．廃棄物排出量						
	対基準					
①一般廃棄物削減	kg	11,776	11,540	11,948	104%	× 未達成
	対基準		△2%			
②産業廃棄物のリ サイクル化推進	kg	1,960	目標数値設定なし 維持活動			
	対基準					
Ⅳ．水道水の節水	m ³	296	290	106	37%	○達成
	対基準		△2%			
Ⅴ．化学物質使用の 適正管理	kg	66	目標数値設定なし 維持活動			
	対基準					
Ⅵ．環境配慮製品 サービスの提案	回	8	目標数値設定なし 維持活動			
	対基準					
Ⅶ．地域ボランティア 等への参加	回	4	目標数値設定なし 維持活動			
	対基準					
Ⅷ．環境活動の 教育訓練	回	4	目標数値設定なし 維持活動			
	対基準					

注)評価欄にて、○:達成、△:やや未達成、×:未達成

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力 0.521 kg-CO₂/kWhを使用

注2) 『目標数値設定なし維持活動』は、「6. 環境経営計画及び取組…」に記載のとおり

6. 環境経営計画及び取組結果、次年度の取組内容(1/2)

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
Ⅰ. 課題とチャンス取組み 業務の効率化改善		
・社員の働きやすい環境の整備	○	・新たな課題として取り組んだが、ハイサンテックスの創設時の存在意義の再意識づけは浸透されて少しづつ行動変化が感じられる。 今後とも、各取組みの背景/目的を意識して【プロセス重視】でみんなの力を結集して、《良い会社づくり》(企業価値向上)に向けて進んでいく。
・事業活動における3Rの推進	△	
・社員教育	△	
Ⅱ. 二酸化炭素排出量削減		
本社・工場の電気使用量の削減		
・設備の空運転状態の撲滅	○	【累計目標：未 達 成】 ・売上高増加傾向(156%)に相関して電力量も若干増加傾向であるが単位指標は目標設定を77%でクリアできている。皆の節電取組み活動結果が反映されている。 ◆引続き、省エネ/節電取組みを継続していく。指標データ等の推移確認分析して注視していく。
・冷暖房の控えめな使用(冷房28℃ 暖房21℃)	○	
・ドアの開け放しの防止	○	
・帰宅時の不要な電源はすべて消す	○	
工場運搬/自動車等燃料量の削減		
・不要なアイドリングストップ&冷房の控えめ使用	○	【累計目標：達 成】 ・売上高増加傾向(156%)に相関して化石燃料消費量も若干変動傾向であるCO2排出量は計画をクリアでき、単位指標は目標設定を77%でクリアできている。皆の節電取組み活動結果が反映されている。 ◆引続き、省エネ/節電取組みを継続していく。指標データ等の推移確認分析して注視していく。
・急発進、急加速、急停車の抑制(エコドライブ10)	○	
・空気圧/オイル点検等の車両整備	○	
・効率的な移動コース等の事前検討	○	
・過積載を防止する		
事務室灯油・LPG量の削減		
・冷暖房の控えめな使用(冷房28℃ 暖房21℃)	○	【累計目標：達 成】 ・売上高増加傾向(156%)であるが、空調機器の更新効果が顕著に反映つれてCO2排出量は68%となり計画を大幅にクリアでき、単位指標は目標設定を53%でクリアできている。事務室関係者の節電取組み活動結果が反映されている。 ◆引続き、空調温度設定取組みを継続していく。また、指標データ等の推移確認分析して注視していく。
・不要空調時間の短縮(不可低いスタート運転)	○	
・部屋開放の撲滅(コロナ換気の適正対応)	○	
・ストーブ不在時の点火	○	
Ⅲ. 廃棄物排出量		
①一般廃棄物の削減		
・分別ボックスの設置(再資源化率の向上)	○	【累計目標：達 成】 ・ゴミの削減活動は、継続できているが、全体整理整頓実施(3S2T)により目標数値の104%オーバーであるが問題点はない。 ◆引き続き3S2T活動とゴミ分別で排出量を削減し目標を達成を目指す。
・使用済ファイル、封筒等の再使用	○	
・電子データの共有化取組み促進	○	
②産業廃棄物のリサイクル化推進		
・分別解体の徹底による循環再生資源化	○	【維持活動：良好】 ◆リサイクル率100%である。 産業廃棄物処理は、当社環境取組みで重要項目なので法令順守の徹底を周知してください。
・発生端材の利活用による廃棄量の軽減	○	
・マニフェスト票管理による法令順守	○	
Ⅳ. 水道水の節水		
・節水の周知意識の高揚 (節水シール/ポスター掲示)	○	【累計目標：達 成】 ・基準値に対して大幅に削減できている。 ◆節水活動実行は、良好です。今後の使用水量データ推移確認分析は継続必要です
・清掃/手洗い時の節水取組み	○	
・漏水チェックの実施	○	
・漏水チェックの実施		
Ⅴ. 化学物質使用量の適正管理		
・化学物質含有の資材の洗い出し	○	【維持活動：良 好】 ・SDS収集及び使用数量は、把握できている。 ◆予定とおりに取り組む継続する。
・SDSシートの収集	○	
・PRTR法特定化学物質含有量表の作成	○	
・RoHS情報の把握	○	

6. 環境経営計画及び取組結果、次年度の取組内容(2/2)

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
VI. 環境配慮製品サービスの提案		【維持活動：良 好】
・省エネ、再生可能エネルギーの活用事例情報収集	△	・ほぼ予定とおりに、取組み中である。 ◆今後とも、タイムリーな対応の推進に注力してください
・顧客ニーズの実現把握(環境配慮/長寿命配慮設計)	○	
・新製品・サービスの新規開発取組み	△	
・既存顧客へのメンテナンスフォロー取組み	○	
VII. 地域ボランティア等への参加		【維持活動：良 好】
・町内清掃活動への参加	○	・ほぼ予定とおりに取り組んでいる。 ◆良好です。今後も積極的対応で実施ください。
・本社/工場の周辺道路清掃活動(毎月)	○	
・地域環境行事に積極的な参加	○	
VIII. 環境活動の教育訓練		【維持活動：良 好】
・EA21スタート時の教育訓練を実施	○	・ほぼ予定とおりに取り組んでいる。 ◆良好です。今後も積極的対応で実施ください。
・環境安全委員会等の開催	○	
・社外セミナーへの参加	△	

7. 環境関連法規等の遵守状況の評価結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
プラスチック資源循環促進法	プラスチック廃棄物の排出抑制、再資源化の取組み及びその重要性を教育	遵守
騒音・振動規制法	指定地域内の特定施設の届出、規制基準の遵守	—
水質汚濁防止法	公共用水域への排水の排出基準の遵守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	—
フロン排出抑制法	業務用空調冷凍機器の廃棄時のフロン類の回収	遵守
PRTR法	第1種指定化学物質の排出・移動量の届出、SDSの提供	遵守
労働安全衛生法	SDSが義務化された化学物質リスクアセスメント管理	遵守
毒物及び劇物取締法	試薬類含む毒化学品の貯蔵場所表示、盗難/漏洩防止、事故届出	遵守
高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止、40℃以下、警戒標など基準に従う	遵守
消防法	(防火対象物)防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持(危険物取扱所)設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	遵守
小型家電リサイクル法	小型電子機器28品目の適正な事業者への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し	—
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するように努める	遵守
顧客グリーン調達基準	EMSの運用及び有害物質の管理(非使用、基準遵守等)	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、遵守されていることが確認できました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し全員参加でエコアクション21に取り組んできました。

取組2年間が経過して、朝礼/定例打合せ/勉強会等では社内コミュニケーションの活発から意見交換などの結果から日常業務改善への自主的な取組みに進展となりその効果を感じられている。

3R/3S2T等での無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着してきているので、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への意識付けから業務行動変化を図って”新たな社内文化づくり”を進化させる必要があります。

今後は、厳しい経済変化と混迷化となるブーカ(VUCA)の中での投資効率を見定めて、『課題とチャンスをつまえた戦略策検討からの環境経営目標/計画』を設定して、実行し、目標/計画のゴールに向けてチャレンジしていくプロセスは、非常に役立つと感じています。

今後とも、【前向きな好循環PDCAサイクルループを創造し、脱炭素化経営に取組みWin & Winな働きがいのある会社づくり】に向けて邁進して所存であります。

2024年6月30日

代表取締役 高山 浩平

・環境経営方針	変更指示	☐ あり	☒ なし
・目標/計画	変更指示	☐ あり	☒ なし
・実施体制	変更指示	☐ あり	☒ なし

9. 環境経営での取組み活動の紹介



＜エコアクション掲示板＞



＜ごみの分別＞



＜省エネ＞



＜節水＞



＜再生資源集積活動＞



＜消火訓練＞